

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

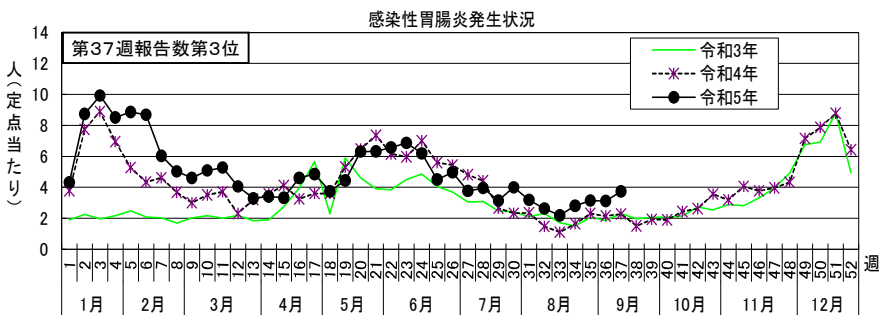
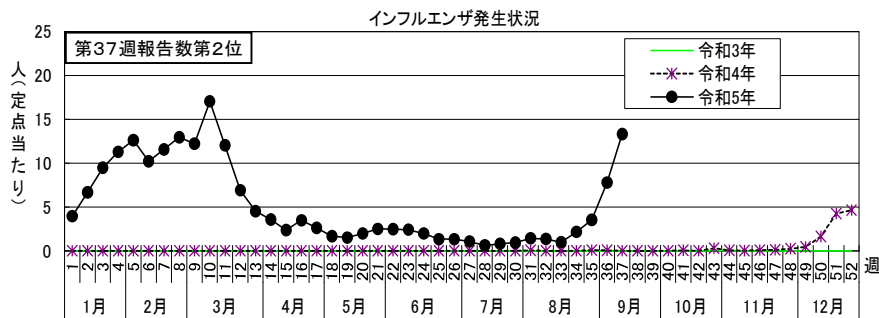
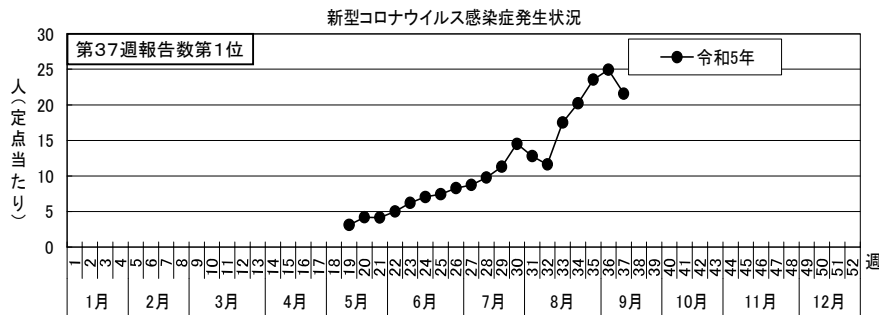
令和5年9月11日（月）～令和5年9月17日（日）〔令和5年第37週〕の感染症発生状況

第37週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 新型コロナウイルス感染症 2) インフルエンザ 3) 感染性胃腸炎でした。

新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は21.59人と前週（24.95人）から減少しました。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は13.31人と前週（7.80人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.73人と前週（3.11人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。



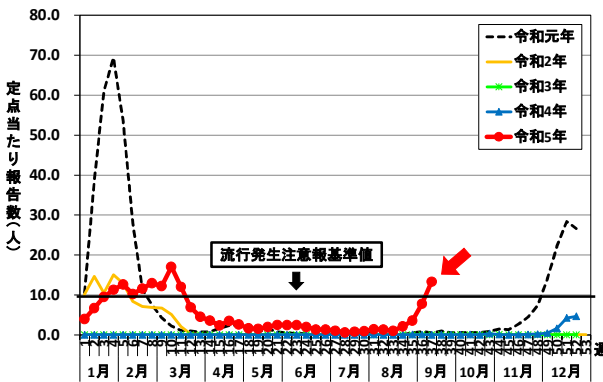
インフルエンザ～流行発生注意報が発令されました！～

川崎市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は、令和5年第37週（9月11日～9月17日）に13.31人となり、昨シーズンから流行期が継続したまま、流行発生注意報基準値（定点当たり10.00人）を超えました。区別では、麻生区が定点当たり17.13人と最も多く、次いで宮前区が16.60人となっています。

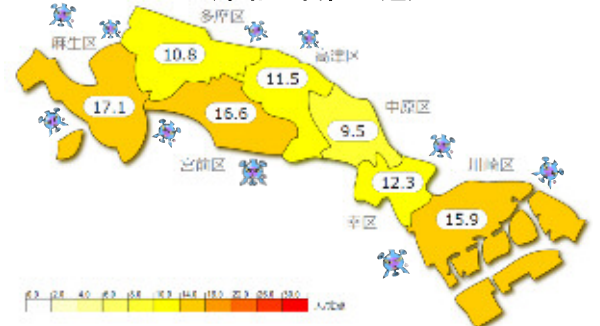
令和5年の報告はA型インフルエンザが中心であり、今シーズンにインフルエンザ様疾患として健康安全研究所に搬入された10検体のうち、7検体からインフルエンザウイルスが検出され、いずれもA香港型でした。

今シーズンは、インフルエンザの報告数が例年よりも早い時期から急速に増加しているため、御注意ください。

川崎市におけるインフルエンザ発生状況（5年間）



川崎市におけるインフルエンザ分布マップ（令和5年第37週）



川崎市感染症情報発信システム（KIDSS）



発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当・各区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）044-276-8250 令和5年9月20日作成